

農研速報

令和7年10月2日発行

茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3402
TEL029-239-7212 FAX 029-239-7306

生育状況(9月29日現在、水戸市)

県名 (試験場所)	品種	生育の状況	問題点	これまでに講じた対策及び今後の方針	備考
茨城県 (水戸市)	ベニアズマ べにはるか	<p><u>気象概況: 8月28日～9月29日(直近5カ年の平年値との比較(水戸地方気象台観測値))。</u> 上記期間の平均気温は25.6℃で平年より高かった(+1.3℃)。 降水量は122mmで、平年より少なかった(平年比61%)。 日照時間は215時間で、平年よりかなり長った(平年比129%)。</p> <p><u>生育概況: 令和2年度より株間を25cmから35cmに変更した。なお、両品種ともに、令和2年度から令和6年度の5カ年の平均値を平年値として記載した。</u></p> <p>地上部の生育: 「ベニアズマ」、「べにはるか」のつる重は、平年並であった。</p> <p>地下部の生育: 「ベニアズマ」の1株当たり個数はかなり多く、塊根一個重はかなり少なく、総いも重、上いも重はかなり少なかった。また、「べにはるか」の1株当たり個数はかなり多く、塊根一個重は少なく、総いも重、上いも重はかなり多くかった。</p> <p>8月下旬の調査以降、気温は平年より高く、降雨量が少ない高温乾燥条件が続いた。ナカジロシタバ等の害虫の発生が多く、葉に食害が見られる。「べにはるか」の生育は順調である一方、「ベニアズマ」は平年よりも収量が少ない様子。「ベニアズマ」は前回の調査からつる重が24%増加しているため、つるの伸長が先行したと考えられる(「べにはるか」は2%増)。</p>	特になし	<p>6月19日、8月4日、9月1日にナカジロシタバの防除を行った。</p> <p>今後は霜に注意して掘り取りを行う。</p>	

表 生育調査(挿苗後132日、9月29日調査)

品種	つる重			1株当たり塊根数			塊根1個重			総いも重			上いも重		
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (個)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)
ベニアズマ	349	66 (527)	90 (386)	9.3	177 (5.3)	182 (5.1)	114	54 (210)	48 (235)	300	95 (315)	88 (343)	280	92 (306)	83 (337)
べにはるか	473	79 (596)	108 (437)	8.1	138 (5.9)	130 (6.2)	169	98 (172)	92 (184)	391	136 (287)	120 (326)	374	134 (278)	117 (320)

()内は前年または平年の数値。平年値は令和2～6年(5カ年)のデータの平均値(令和2年より株間を25cmから35cmに変更)。

塊根は直径3mm以上のもの、上いも重は一個50g以上のものとした。

挿苗日:5月20日、黒マルチ栽培、栽植密度:286株/a(畦間100cm×株間35cm)、施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0

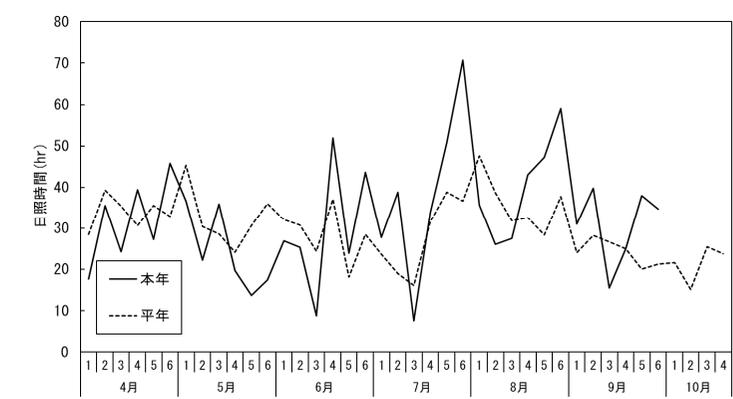
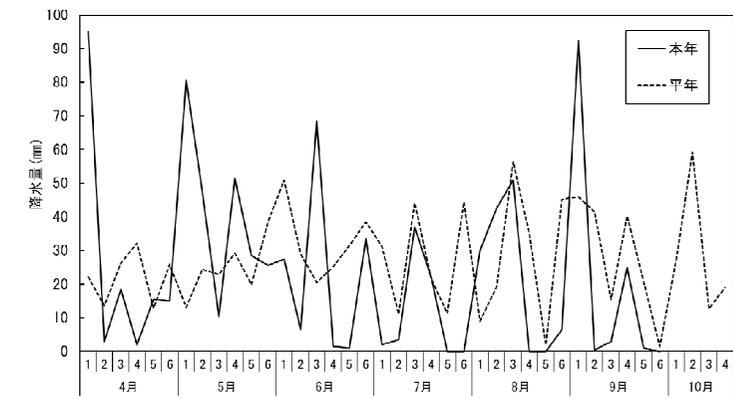
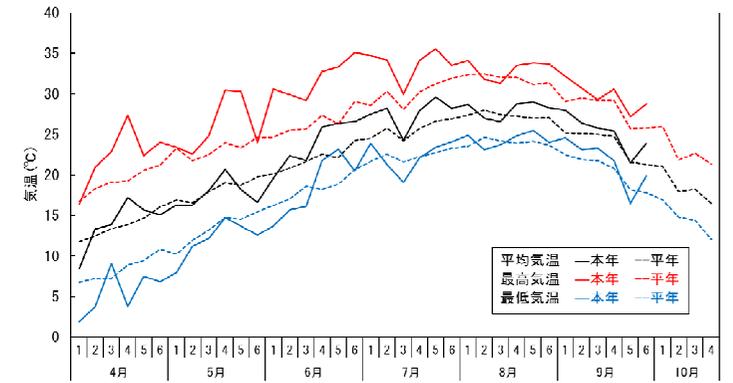
農研所内圃場における生育状況（9月29日撮影）



ベニアズマ



ベにはるか



半月別の平均気温、降水量、日照時間（水戸地方気象台データをもとに作成）